

保健だより

臨時号



麻疹に注意しましょう

この5月に、広島市では5年ぶりに「麻疹(はしか)」の患者が発生しました。その後、広島市を含む広島県内で、罹患した患者が増えています。麻疹は感染力が非常に強いため、免疫を持っていない人には注意が必要です。麻疹についての知識を深めましょう。

麻疹とは

麻疹ウィルスによっておこる感染症で、人から人へ感染します。

感染経路・・・空気感染、飛沫感染、接触感染

潜伏期間・・・10～12日

出席停止の基準・・・解熱後3日間を経過するまで



〈初期症状(カタル期)〉

- ・発熱(38度前後の発熱)
- ・鼻水や咳
- ・コプリック班(口腔内に小さな白い発疹出現)
- ・目の充血 など

〈3～5日(発疹期)〉

- ・発疹
(耳の後ろ、首、顔から全身に)
- ・高熱(39～40度)

〈6～9日(回復期)〉

- ・発疹、熱が続き、その後回復に向かう

カタル期を過ぎると、熱が一旦下がります。その後半日ほど経過すると発疹と高熱が現れます。

麻疹の予防は予防接種

麻疹は発症すると効く薬がなく、つらい症状を軽減する対処療法を行います。様々な重篤な疾患を合併しやすいことも特徴です。予防接種を徹底することが身を守る方法になります。2回の予防接種で抗体の定着がはかれます。予防接種を受けていない人、分からない人は受けるようにお勧めします(各家庭で判断の上、受けてください)。

もし麻疹に罹ったら

上記のような症状が見られたら、事前に病院へ電話をして様子を伝えてから受診をしましょう。学校保健安全法では、麻疹は、出席停止扱いとなります。医師から、他への感染の恐れがないと認められた場合には、学校感染症等治癒通知書を持参して登校しましょう。